

第12回 もう一つの展



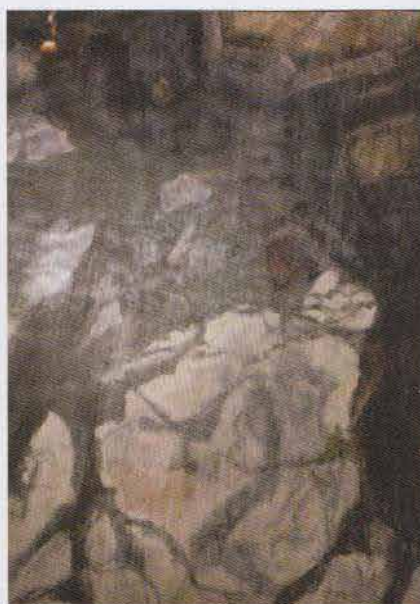
■2021年4月30日(金)～5月5日(水・祝)
AM11:00～PM5:00(最終日はPM4:00まで)

■アート空間OSADA

是非ご来場、ご観覧下さいますようお願い申し上げます。

名鉄(河和線・内海線)住吉町駅下車、西に徒歩5分
〒475-0903 愛知県半田市出口町1丁目212-2
TEL0569 - 22 - 7368

松岡 邦子 [長野県]



『樹根2020-IV』

人類におそいかかりました、コロナ菌の襲来の中で、第11回展は毅然として開催されました。ときには、途方に暮れがちな命ひとつ、今回の展に依りましてまた元気を出して参りたく思います。

[出品者]

長田 昇	長田 文実香	井戸 智子	稲垣 朋子	鶴飼 冴子
奥山 哲三	川口 瓊子	木下 日和	クニイ マリコ	組谷 道子
坂井 和子	嶋村 克也	住井 宏二	須藤 千要子	角 淑子
谷岡 君枝	中浦 眞一	松岡 邦子	森田 由美子	



長田 昇 [愛知県]



『増減・浸食』

日本初の鉄筋コンクリート高層集合住宅であり、明治から昭和の厳しい時代が伝わる。残された建造物に、時の生活感が伝わる。私はその壁の対比に時空を超えた生命感を素描。

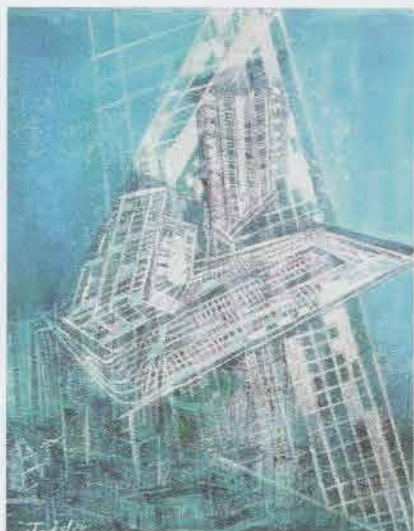
長田 文実香 [愛知県]



『増減・浸食』

菌も細胞も、分裂しては増殖を繰り返す、増えたり減ったり、別のものに変異したり。目に見えない物を形にし、表現するのも、また新しい発見。イメージを膨らませながら、新しい作品作りをしていきたい。

井戸 智子 [奈良県]



『空間 A』

未来に向けての都市空間を表したいと取り組んでいます。それは現在の社会・生活とは切り離せないもの、その思いを描きたいと思います。

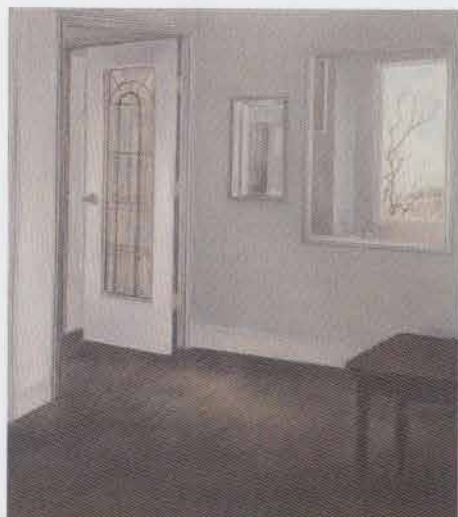
稲垣 朋子 [富山県]



『Silence』

昨年の春先、漂う冷気に暮れなずむ光が重なり、いつもの風景が全く違う顔を見せました。惹かれる理由とイメージを追いながら、自分の造形へと繋がたいです。

鷓飼 冴子 [神奈川県]



『曇感』

好きな色は普通に見える風景の中にふと不思議で不可解な形態や存在を感じる空間です。

奥山 哲三 [北海道]



『ヒカリノオト・カゼノイロ』

「見えないものを描くこと」と「足を運んで、実物を見たいと思う作品を作ること」。この2つがコロナ禍の中の私の大きな課題です。

川口 瓊子 [愛知県]



『花』

花の絵を描く 無口なあなたがうしろでつぶやく「お前は花の絵がいい」もうその声は聞けない 春の光が部屋に満ちて今はひとりで花の絵を描く

木下 日和 [長野県]



『cloud』

【上ばかり見て】刻々と明けてくる朝を感じて散歩を続けています。毎日違う大空を何とか表現したいと思うようになりました 最近の上ばかり見上げています。

クニイ マリコ [東京都]



『Be absorbed, and shake』

本物の鳥にはなれないけれど、時々木馬が見せる勢いに魅力を感じることがあります。棒に繋がれても、絵の中では元気に走ってほしいと思い描きました。

組谷 道子 [神奈川県]



『刻』

長い間、自分のモチーフを自分なりに追求して来たつもりです。旅行に行った山中で、心惹かれてパチリと写真に残しました。ただ描いただけになってしまいました。

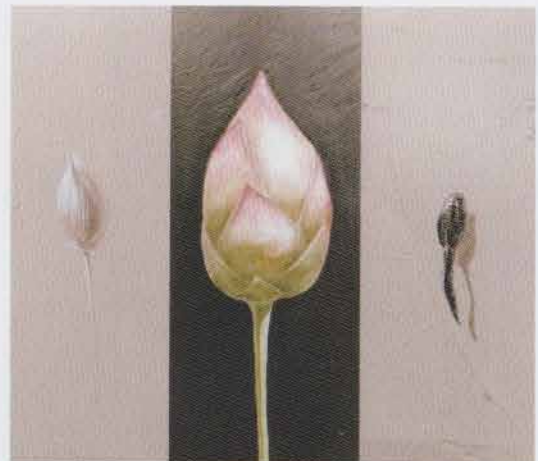
坂井 和子 [群馬県]



『Groovy...素敵な感覚』

時々見る私の夢の中には、不思議の国にいるような幼い頃の朧げな映像と微かな楽しい音楽があります。今も絵を描くことで、その素敵な感覚を追い続けています。

嶋村 克也 [神奈川県]



『画1』

画面が一義的ではなく、「無限に開かれている」と解釈できる作品を描くことは可能だろうか？目指すものはあっても、なかなか実現しない。

住井 宏二 [愛知県]



『おひめ』

いつからか、有機的なものを描いてみたいと思うようになり、木の根や枝などを題材にするようになりました。それまで特に気にして見ることもなかった幹や枝もあらためて見てみると面白い姿、形をしていると思います。

須藤 千要子 [奈良県]



『Mandala 2021 May』

Mandalaのテーマを、花の生命やフォルムから感じて描いています。すべてをはぐくむ慈しみと智慧の織りなす宇宙観みたいなものを追求しています。

角 淑子 [愛知県]



『2023』

体調の為に、提出日までに原稿が出せません。作品は搬入日までに完成させ出品します。

谷岡 君枝 [神奈川県]



『心象風景』

私の描きたいものは「見えないもの」です。内面とも言えるものかもしれませんが大変難しいです。あと一瞬一瞬の「たった今」を捉えたいです。

中浦 眞一 [大阪府]



『マイフィールド』

「人もモノもうたかたのようなもの。互いに交わり、つながって、かつ消えつつ現れて流れていく。その舞台である「場」(フィールド)だけが確かにある。」

森田 由美子 [愛知県]



『光の中に』

今回は今までとは違う感覚で光をイメージし、ピンの形を出来る限りシンプルに、光とピンで構成してみました。